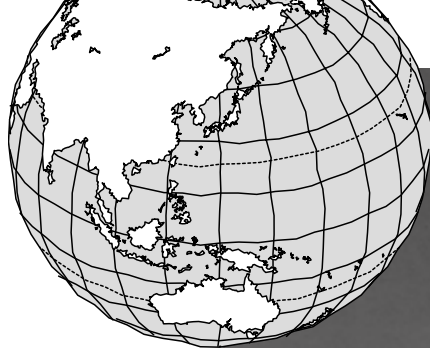




6

モンゴルスタディツアーでの 体験を国際理解教育の学習に活かす

報告者 福島県立平養護学校 青木 由紀子 先生

活

動のポイント

高校で福祉科の授業を担当したり、青少年赤十字（JRC）の部活動顧問になったりすることで国際理解教育に関心を持つようになった。JICAのスタディーツアーでガーナ共和国に行き、授業の中で、現地の様子を生徒達に伝える授業を行ったことが、生徒達の国際理解への興味関心を高めることになった。そこで、今度は、ユニセフ募金を行っている国へスタディーツアーで参加させて頂き、実際に自分が見てきた異文化の国モンゴルを生徒達に伝えることで、国際理解教育を実践したいと考えて応募した。

実**践**

モンゴルスタディーツアーは、現地で行われているユニセフの事業を視察し、その体験をもとにユニセフへの協力の輪を広げていただくことを目的としている。モンゴルでのユニセフ活動の視察とは、遊牧民の子どもたちのところに、先生が出向いていく「移動式幼稚園」や、衛生問題の支援などである。

① 視察の日程と内容

	月日	場所	時間	スケジュール
1	7/22	日本・モンゴル		出入国
2	7/23	ウランバートル 移動 ナライハ町 移動 ウランバートル	9:00～10:00 14:00～15:00	ユニセフ・モンゴル事務所 ナライハ町の社会政策部とのミーティング
3	7/24	移動 ダルハンオール県	14:00～15:00 18:00～19:00	移動式ゲル幼稚園訪問 養蜂家訪問
4	7/25	ダルハンオール県	9:00～10:30 12:00～17:00	NGOによる住民参加促進事業を視察 放牧家の家庭訪問

5	7/26	移動 ダルハンオール県 移動 ウランバートル	12:00～17:00	子どもサーカスプロジェクト訪問
6	7/27	ウランバートル、 バヤンズルフ地区	9:00～10:30 11:00～15:00	学校の衛生施設を視察 ヘルスセンター訪問 ファミリーエンパワメントを行っているクリニック訪問
7	7/28	モンゴル・日本		出入国

② 授業実践

授業実践では、モンゴルスタディーツアーを通して、実際に見てきたこと、体験してきたことを生徒に伝え、国際理解・異文化理解を深めることを考えられる様な視点で以下のような授業を展開した。

◆授業実践 i

「モンゴルの歴史から見る国際理解」というテーマで、教科書に出てくるモンゴルの歴史を再確認したり、モンゴルの民族衣装を見たり、モンゴルの童話のCDを聞いたり、モンゴルの飲み物を味わったりして、モンゴルについての授業を展開し、国際理解について生徒達と一緒に考えた。

(授業内容)

モンゴルの歴史：世界史に登場する匈奴・鮮卑・突厥・ウイグル・遼・契丹・モンゴル・元について振り返る。

衣服：モンゴルの民族衣装デールとチャイナ服を比べる。

言葉：モンゴルの絵本「おだんごパン」のCDでモンゴル語を聞く。

文字：絵本の文字を見たり、モンゴルの葉の縦書きのモンゴル文字を見比べる。

水道事情：上水道はないので、飲料水はペットボトル、またはウォーターキオスクで購入。

飲食物：モンゴルのミルクティー「スーティーツァイ」を味わう。

トイレ：傘または合羽で対応した話を聞く。

◆授業実践 ii

「世界の音楽」という授業の中で、モンゴルの様子を生徒達に紹介して、異文化にふれる授業を展開した。

(授業内容)

モンゴルの地図：モンゴルの地理を世界地図と地球儀で確認する。

衣服：モンゴルの民族衣装デールと日本の浴衣を比べる。

言葉：モンゴルの絵本「おだんごパン」のCDを聞く。

音楽：スーホの白い馬に出てくる馬頭琴を弾く。ホーミーを聴く。

飲食物：モンゴルのスーティーツァイ（ミルクティー）を味わう。

住まい：ゲルの写真や模型を見る。

トイレ：傘または合羽で対応。



◆授業実践 iii

青少年赤十字 (JRC) 秋季総会で国際理解教育の講義として、ワークショップ (グループディスカッション) を実践した。

(ワークショップ内容)

モンゴルの地 図：モンゴルってどこ？白地図から探す。

衣 服：モンゴルの民族衣装って？デールの子供服を見る。

言 葉：モンゴルの言葉って？モンゴル語の話をCDで聴く。

飲食物：モンゴルの味って？

モンゴルの飴やスーティーツァイを味わう。

住まい：モンゴルの家って？

モンゴルの現地でのゲルの写真などを見る。

トイレ：傘と合羽でどうするの？

モンゴルの現地でのトイレの写真などを見る。

③ 生徒達の感想

◆授業実践 i 生徒達の感想

○モンゴルの歴史

●現在のモンゴルは13世紀から続いている。800年祭を最近行っている。遊牧民族の国。

○モンゴルの水道事情についての感想

●日本はどこでも、水道がつながっているの、飲み水に困ることはないがモンゴルは移動式の家（ゲル）で生活しているので、水道がない。

◆授業実践 ii 生徒達の感想

○モンゴルの場所

●日本より4倍広い。日本から意外と遠い。海がない。

○モンゴルの民族衣装を見た感想

●かわいい。チャイナ服に似ている。日本の着物とは全然似ていない。

○モンゴルの言葉（モンゴル語の話をCDで聴く）・昔話

●全然わからない言葉。おもしろい言葉。話はおもしろい。

○モンゴルの音楽を聴いた感想

●ホーミーは音楽の授業で聴いたことがある。本物の馬頭琴が見られてよかった。

○モンゴルの飴やスーティーツァイ（ミルクティー）を味わった感想

●馬乳と聞いただけで飲みたくないと思った。しょっぱい。おいしくない。

○モンゴルの家（ゲル）についての感想

●一度家に入ってみたい。便利。お風呂や水道がないのは不便。

○大草原の傘を使ったトイレタイムの感想

●大草原だから誰も見ていないといっても、傘を使って隠れてトイレをすることはできない。絶対いやだ。

◆授業実践 iii 生徒達の感想

○モンゴルのイメージとは？

●のどかな国。相撲の国。移動式の家ゲルにすむ。遊牧民・日中と夜の気温差がある。チンギスハン。朝青龍。放牧。暑い。草原・独特な民族衣装。見知らぬ人も泊める風習がある。毛皮のコート。馬に乗るのが上手。羊やらくだを飼っている。馬頭琴。「スーホの白い馬」が有名。砂漠が一面。

○モンゴルの民族衣装を見た感想

●防寒に役立ちそう。布地がきれい。原色が多い。男の人でもスカートみたいに長い服。肌をあまり露出しない。中国の服みたい。意外にずっしり重く暖かかった。重い。モンゴルっぽかった。布が堅かった。(フェルト生地) 座布団はずっしり重い。チャイナ服みたいだ。色がかわいい。意外に派手。

○モンゴルの音楽を聴いた感想

●音色がよかった。とても古典的な音だった。馬頭琴はこんなに鳴るものかと思った。馬頭琴はいい音だった。馬頭琴はバイオリンみたいだ。暗い感じがした。どくどくな感じだった。いい音だった。蛇が出てきそうだった。楽器が思っていたより大きかった。モンゴルっぽかった。

○モンゴルの飴やスーティーツァイ（ミルクティ）を味わった感想

●あめは甘くておいしかった。しょっぱかった。ハードな味だった。牛乳に塩トッピングの味。脂肪分たっぷり、すごいしょっぱい。スキムミルクみたい。独特な味。塩味のきいたミルクティ。飴ちゃん文化があることに驚いた。

○モンゴルの言葉（CDでモンゴル語の話を聞く）・昔話

●ロシアの昔ばなしがモンゴルの昔ばなしになっている。絵がかわいくない。モンゴルの言葉は何を言っているのか全くわからなかった。モンゴルの言葉は初めて聞く感じだった。

まとめ

モンゴルスタディーツアーでは、私自身が多くのことを学ばせて頂くことができた。自分自身が、見たこと、聞いたこと、感じたこと、味わったものなど現地に行かなければ分からない質量感を伴った体験は、生徒にその感想を伝える時にとても有能な体験となっている。生徒達にとっても、「スーホの白い馬」や相撲の力士朝青龍の出身国として身近だったモンゴルの様々な文化に触れることができ、授業の終わりには、口ぐちに「モンゴルの勉強楽しかった。」「面白かった。」「知らないことが多い国だった。」との感想を聞くことができた。生徒達がこのように、楽しいと思える授業が展開できる国際理解万歳！異文化理解万歳！である。これからも、今回の体験を多くの生徒達に授業の中で伝えていきたいと思っている。